



足寄町立足寄小学校 学校便り (第 230号)

令和5年10月31日(火)

大地



足寄町立足寄小学校
電話 25-2114
FAX 25-4904
発行者：大宮 秀夫
編集者：平川 正規

足寄小学校「あ・い・う・え・お」あいさつ 一生けん命 美しい学校 えがお 思いやり

特別活動の持つ力

校長 大宮 秀夫

学校行事や学級活動(学活)、児童会活動(委員会)などは文科省が定めた学習指導要領の「特別活動」という領域で決められた学習活動の一環となっています。

私はこの特別活動の持つ力が学校教育にとっても重要だと思っています。もちろん、教科の学習が不可欠なのは言うまでもありません。ただ、特別活動は子どもたちの学校生活に豊かさ、潤い、リズムなど教科学習だけでは身につけることが難しいものを与えてくれます。自主性や主体性を養う場ともなります。そして私たち大人にとっては子どもの成長をダイレクトに実感できるのも特別活動だと思います。



さて、9月～10月は2つの大きな特別活動が実施されました。

9月は、修学旅行です。6年生の素晴らしい成長を感じました。あいさつ、時間を守る、友だちと協力する、公共のマナーを守ることや説明してくれる方の話に豊富なリアクション……。そして見学先では旺盛な好奇心で意欲的に学ぶ姿勢などが見られました。仲間と協力し合った小学校生活での最高の思い出となったことでしょう。

そして10月に開催された学習発表会です。子どもたちは“全集中”でがんばりました。マスクなし、合唱や鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどの復活。私も心から感動しましたし、参観された来賓や保護者の皆様方からもお褒めの言葉を頂きました。そして子どもたちは学習発表会の取組を通して計画性、創造性、努力、粘り強さ、協調性などいわゆる非認知能力と言われる力を存分に高めたに違いありません。何よりも子どもたちの達成感に満ちた笑顔が最高でした。

こうして特別活動としての行事を通して子どもたちは成長し、私たち大人は子どもの成長を実感します。特別活動は子どもたちの学校生活を豊かなものにし活気やリズムを与えてくれます。こうした学びはリモート授業では味わうことができません。学校現場で子どもたちが互いにふれあい、体験を通して学んだり、協力したり、意見がぶつかり合ったりする特別活動の大切さを強く感じます。これからも子どもたちの成長が見られると思うとワクワクしてきます。

「いかのおすし」看板寄贈～株式会社北海道ロードサービス様

校門の西側フェンスに、不審者対応の合言葉「いかのおすし」の看板を株式会社北海道ロードサービス様より寄贈していただきました。防犯意識を高めるために使わせていただきます。ありがとうございました。



学習発表会 ご観覧ありがとうございました

10月19日(木)、20日(金)の2日間に渡る分散開催でしたが、無事終了することができました。ご観覧に際し、ご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。どの学年もすばらしい発表となりました。



1年生
「ほかほか なかよし 1ねんせい」



2年生「十二支のはじまり」



3年生「ディズニー de ハピネス」



4年生「人間になりたかった猫」



5年生「懐かしの平成ポップス」



6年生「ぼくらの七日間戦争」

令和5年度「青少年健全育成標語」受賞者

《特別賞》

防犯協会長賞	5年生児童	「『会ってみよう』 その一言が 命とり 」
足寄交番所長賞	6年生児童	「 安全だ そんな時こそ 要注意 」

《非行防止・防犯部門》

1年	金賞	銀賞	銅賞
3年	銀賞	銅賞	佳作
4年	金賞	佳作	
5年	銀賞	銅賞	
6年	銀賞	佳作	

《交通安全部門》

1年	金賞	銀賞	銅賞
2年	銀賞		
3年	金賞	銀賞	銅賞
4年	銅賞		
5年	金賞	銅賞	佳作



主な行事

- 1日(水) 交通安全の日・挨拶いっぱい運動
視力検査(中)
- 2日(木) 視力検査(高)
- 3日(金) 文化の日
町文化賞・スポーツ賞表彰式
- 6日(月) 校外巡視
主任児童委員学校訪問
- 7日(火) 生指連町内パトロール
- 8日(水) 職員会議
- 10日(金) 読み聞かせ(2年)
- 16日(木) 町教育研究大会(芽登小)
- 23日(木) 勤労感謝の日
- 29日(水) 教育委員訪問
移動図書

